

泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について（報告）

- ◇募集期間：令和5年12月27日（水）～令和6年1月22日（月）
- ◇募集方法：郵送、ファックス、電子メール、高齢介護課へ持参（また、市内公共施設等に意見書募集箱を設置）
- ◇提出人数：2人
- ◇意見件数：4件
- ◇意見概要及び市の考え方

	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>【情報収集について】</p> <p>・街かどデイハウスやふれあい喫茶など集まりの場があるようだが、情報がわかりづらい。利用する人だけでなく介護する人にもわかりやすく掲示してほしい。</p>	<p>・集まりの場の周知方法ですが、市や地域包括支援センターの窓口において街かどデイハウスやふれあい喫茶などのパンフレット等を設置しています。</p> <p>　広報への定期的な掲載、パンフレットの設置場所の拡充、SNSなどを活用した情報発信などについて検討し、介護者の方への周知に一層努めてまいります。</p>
2	<p>【通いの場について】</p> <p>・地域での通いの場やサークルでは手芸など女性向けが多く男性が集まれる場所が少ないように思う。男性が気軽に参加できるような教室（けんこう麻雀、畑仕事など）の企画が必要ではないか。</p> <p>・60歳から取り組めるような介護予防・地域での役割作りの場所を作ることによって65歳から参加できる事業に不安なく移行できるのではないか。</p>	<p>・基本目標1「生涯現役を支える健康づくり・生きがいつくりの推進」(2)「介護予防の効果的な推進」の中で介護予防のための住民主体のサークル活動の育成・支援の推進について記載しています。地域の高齢者が定期的集まり様々な活動を行う「通いの場」の育成・支援を行います。男性がより気軽に参加できるようウォーキング講座など屋外で行える事業についても実施を検討してまいります。</p> <p>・基本目標1「生涯現役を支える健康づくり・生きがいつくりの推進」(2)「介護予防の効果的な推進」の中で介護予防ボランティアの育成・支援の推進について記載しています。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
	<p>・子ども（未就学児～小学生）と高齢者が共生する場所を作ることによりお互いに刺激になり地域に密着したより良い環境作りができると思う。</p>	<p>積極的な社会参加を促進し、地域の人との交流の中で心身の健康を保持し、壮年期から介護予防への理解を深め、主体的に取り組めるような体制の構築を進めてまいります。</p> <p>・基本目標1「生涯現役を支える健康づくり・生きがいつくりの推進」(3)「生きがいある暮らしの支援」の中で世代間交流の場の整備について記載しています。高齢者の生きがい活動・交流を支援し、乳幼児から高齢者まで誰もが集える地域の支え合い体制を充実させることを目的とし地域活動の拠点整備に努めます。</p>
3	<p>【移動手段について】</p> <p>・通院や外出する際の足になる物についてふれあいバスがあるが、本数が少なかったり停留所までの距離があったり利用しづらい方もいると思う。タクシー券やバスの回数券などの補助があれば外出する機会も増えると思う。</p>	<p>・基本目標2「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進」(8)「安心して住み続けることのできる住まいづくり」の中で移動手段の確保について記載しています。通院等外出する手段として介護タクシー等の適切な利用について、介護支援専門員研修等の機会を捉えて周知に努めます。</p> <p>ふれあいバスは北回り・中回り・南回り3コースそれぞれ1日5便運行しており、コンパクトでほぼ平坦な本市域を網羅するように43カ所の停留所があります。ある一定のご負担はありますが、居宅から比較的近い距離に停留所があると考えています。</p> <p>外出機会の増加に向けた高齢者を対象としたタクシー券やバスの回数券補助等については、ご意見として受けとめさせていただきます。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
4	<p>・高齢者の独居世帯や高齢夫婦の二人世帯が近所でも増えてきている。しかし介護者が少ない状況である。</p> <p>また、認知症の高齢者も徐々に増えてきていると思われる。そのような人たちやその家族が安心して暮らせる施策をもっと増やしてほしい。</p>	<p>・基本目標3「介護サービスの充実と質の向上」(2)「介護サービス等の充実」の中で施策・事業を記載しています。介護人材の不足に対応すべく、大阪府と連携し、外国人等を含む介護人材の受け入れ環境整備を図る取組だけでなく、専門職でない市民も新たなサービス提供の担い手となっただけのような取組を含め、介護人材の確保に努めます。</p> <p>また、基本目標2「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進」(6)「認知症高齢者支援の充実」の中で、認知症に関する理解啓発や相談の充実、認知症高齢者や介護家族に対する支援を記載しています。すでに実施している認知症検診事業や補聴器購入費助成事業等について周知していくとともに、引き続き運動プログラムによる認知症予防など認知症施策の拡充に努めてまいります。</p>